

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認時期	委員名	意見内容	回答
1	1回目	大前委員	<p>◆取組方針1は、今まで、市がこのような公けの文面に記載している支援内容とあまり変わっていないように感じております。</p> <p>そこで、コロナ禍より、各商店会が取り組んでいるまたは商工会を通して行っている、商店会自体の情報化に関する施策について、触れていただけませんか？</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト制作などを通じた「商店会からの情報発信の支援」（チャレンジ補助金で支援いただいています） ・「商店会内の情報共有のデジタル化の支援」（商工会を通じて行っています。SC総合管理様がやっているアンケートでも各商店会からの要望が多いのに加え、R4東京都の商店街実態調査（概要版）P15でも多くのニーズがあることが記載されています） <p>といった内容になります。</p> <p>手間味噌ではありますが、特に2つ目につきましては、今回記載いただいている取組方針を具体的な事業に落とし込んだ際に、地域事業者にも広く周知するためにも必要な施策であると考えています。</p> <p>商工会から地域事業者への情報発信（郵送）では、市内事業者の約半数に情報が届かないことに加え、商店会に加盟しているが商工会に加盟していない事業者が400件（全体の1/3以上）もあることから、地域事業者にいかんして効率的に施策情報などを届け、知っていただくかは、これからの取組みの1つの鍵になると考えています。</p>	<p>調布市産業振興ビジョンは、これからの調布市の産業振興における考え方（指針）を定めるものであることから、具体的な施策は記載せず、商店会のデジタル化への支援を含めた内容として、取組方針1に「組織力の向上を支援する」といった旨の記載を追記しました。また、デジタル化は商店会のみならず、市内事業者にも共通した課題となるため、「取組方針7」へ記載させていただいております。</p> <p>→その後の事務局における検討の中で、取組の方向性1-1の中の取組イメージの中に「商店会のデジタル化や組織力強化の取組に対する支援」として記載させていただきました。</p>
2	1回目	八幡委員長	表題、図表番号、本文中の算用数字は半角で統一しては如何か。	半角で統一いたします。
3	1回目	八幡委員長	和暦西暦は併記しては如何か	<p>記載ルールが統一されておりましたので、文量や読みやすさを考慮し、和暦での表記を基本としつつ、以下のとおり修正を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の出展など、過去を時点を示す場合は、和暦表示のみ。 ・計画年度など、未来を示す場合は、和暦と西暦の併記。 <p>→その後の委員長への事前説明を経て検討し、和暦・西暦の併記で統一することといたしました。</p>
4	1回目	八幡委員長	素案P6について、出典を囲う（ ）は要らないと存じます。	括弧（ ）につきましては、削除いたします。

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認時期	委員名	意見内容	回答
5	1回目	戸嶋委員	素案の第1章の2 位置づけのページの黒四角のなかの「プラン」は「ビジョン」？ 3 計画期間の図表1-2の一番下の「プラン」も「ビジョン」？	申し訳ございません。正しくは「ビジョン」と表記すべきものとなりますので、修正させていただきます。
6	1回目	戸嶋委員	素案の何ページか白紙のページがありますが、なにか入るのですか？	冊子にした際想定したページ構成になっており、白紙ページが入っております。（冒頭部分には市長挨拶の追加を想定しています。）
7	1回目	長峰委員	[第2章 これまでの取組について] 「3これまでの取組の振返り」の項では、「1.平成27年度から平成31（令和元）年度までの取組（コロナ流行前）」と「2.令和2年度から令和6年度までの取組（コロナ流行後）」では①商工業振興について、②観光振興について、③地域産業の基盤づくりについて、の3項目について「～を実施した」、「～を支援した」ということが記述されています。一方、「3.これまでの取組の振返り」では①②③に分けずに各項については簡単に総括して「～ができました。引き続き継続～」、「～ができました。一層注力～」といった記述のみで、「できた、できた」と良い事だけしか記述していないように受け取られます。本来、物事を振り返って評価する場合、例えばですが「～は効果的であったが～は対応が不十分で～を強化すべき」といった形で、プラス面とマイナス面（効果不十分、不足していた点、改善すべき点等）の両面を提示し、その上で今後どう進めることが必要か、を示すのではないのでしょうか？そうであれば、①については～、②については～、③については～、と各項目についてできたこと、できなかったこと、改善すべき点、などを明示し、最後に総括的に今後の方向性を示すのではないのでしょうか？振り返って評価する際にマイナスの部分も示さないと、いかにも全てが「良し」として（至らなかったマイナス面については敢えて記述しない）悪い意味での「お役所的文書」の典型としか見られないように思います。マイナス面、要改善点などがあるからこそ、今後の課題が出て来るというのが自然だと思います。如何でしょうか？	本ビジョンの建付けとして、第2章は主観的な取組の評価、第3章は調査結果による客観的な取組の評価、第4章では、これらの第2章及び第3章を踏まえた市の課題を整理して記載するものとしております。各事業や施策の評価は、毎年度実施している「行政評価」にて行っていますが、本ビジョンは、産業振興の取組の大きな方向性を示すものであることから、第2章では、個々の事業に対する細かな振返りは記載せず、「1」及び「2」で、市のこれまでの主な取組を中心に記載しています。 「3」のこれまでの取組の振返りにおいては、頂きましたご意見を踏まえ、これまでの取組の中で見えてきた改善点を追記しつつ、より振返りを具体的に記載いたしました。

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認 時期	委員名	意見内容	回答
8	1回目	長峰委員	[第3章 調査結果について] 第3章ではタイトルで突然「調査結果について」と出てきていますが、この第3章に至るまでに「調査」については何も触れられておらず、最初から「結果について」と書かれているのは不自然だと思います。ここで調査について初めて記述するのであれば、例えば「調査の実施とその結果について」のように書くべきだと思います。また単に「調査」というのも不明確であり、「～に関する調査」と具体的に示すのが本来あるべき姿だと思います。具体的な調査名が長くてタイトルには不適切であれば単に「調査」でもやむを得ないとは思いますが、一案としては正式タイトルではなくても「状況・課題把握のための調査」という言い方にして、「状況・課題把握のための調査実施とその結果について」とするのも有りとは思いますが。	ご指摘を踏まえ、第3章のタイトルを変更いたしました。 なお、調査の概要については、資料編で記載いたします。 →その後の検討により、第3章の冒頭に調査の概要を掲載させていただきます。
9	1回目	長峰委員	[その他の点] ・P.10の脚注にデジタル化4段階として①～④で示されていますが、本文の図表では「デジタル化第一段階」～「デジタル化第三段階」「アナログ派」として書かれており、脚注のデジタル化4段階と図表の段階の書かれ方が見た目では直ぐにわかるように対応していないので、各々を見て直ぐに対応一致ができるような書き方を工夫した方が良いと思いました。	図表に合わせ、脚注を修正しました。
10	1回目	長峰委員	[その他の点] ・P.29の取組方針4では「商店会、企業、市民、来街者等」と書かれており、「等」があるのでそれはそれで良いのだと思いますが、ここで「近隣自治体」というのも加えて記述したら如何かと思いました。近隣自治体とコラボすることも大事という主旨の話も出ていたと思いますので敢えて明示しても良いのではないかと思いました。	ご指摘を踏まえつつ、他自治体とコラボするのであれば、近隣自治体にとらわれず、あらゆる可能性を探っていくという観点から、「他自治体」を追記しました。
11	2回目	八幡委員長	資料2のP.1 4行目 本市 → 「本市」に修正が必要です。	「市」という形で修正いたしました。
12	2回目	八幡委員長	資料2のP.7 脚注1行目 定形評価の割合 → 肯定形評価の割合に変更した方が良いでしょう。	変更いたしました。

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認時期	委員名	意見内容	回答
13	2回目	長峰委員	<p>課題について書かれた第4章および取り組みについて書かれた第5章では、「回遊はあまり行われておらず、観光資源をつなぎあわせて複合的な効果や成果を生み出す取り組みも不十分」と書かれています。一方で、第2章の中の「3.これまでの取組の振返り」では「～を生かした観光事業等を展開することで、集客・回遊・消費の好循環を生み出し」とあり、さらに（コロナ期間は従来方法での集客・回遊が困難になったものの）「～の取組等により、集客・回遊・消費の好循環と地域産業基盤の維持に努めてきました。」とあります。</p> <p>つまり第2章では「（必要な）取組によって好循環が生み出され、その好循環に務めてきている」と説明されており、第4章と5章で書かれている「取り組みが不十分で回遊があまり行われていない」旨の説明と整合性が取れておらず、むしろ矛盾しているように読み取れます。以上の点に関して書かれている中身の流れが論理的で整合性が取れるように直す必要があると思います。第5章で「回遊があまり行われておらず」「取り組みも不十分」と書くのであれば第2章の振返りの部分で（第5章の記述が導かれる）何らかの“頭出し”がないと中身の流れが不自然で読み手にとっては違和感があります。（“振返り”については個々の状況はこの文書の性格として記述できないのは当然ですが、できれば総括的な状況、事柄を2-3示し、さらに可能であればそれらについて簡単に1-2の例を加えることによって内容が説得力を得ることになると思います。”振返り“ではコロナ期間の事に関して以外は肯定的な記述ばかりで第5章の指摘に繋がるもの（そのような状況や実例）が記述の中に見られず不自然に感じます。）</p>	<p>市としては、集客・回遊・消費の好循環の生成・維持についてこれまでの取組により、一定成果を上げてきたと考えております。その上で、時代の変化や第3章の来街者アンケートの調査結果を踏まえ、回遊については、さらなる取組が必要であると捉えています。意図が読み手に伝わるよう、第2章「1 平成27年度から平成31（令和元）年度までの取組（コロナ流行前）」と「3 これまでの取組の振返り」、第4章「2 観光振興について」、第5章「基本方針2」に記載の内容を見直しました。</p>
14	2回目	鎌田副委員長	<p>「調布市お土産SELECT事業」や「調布CM」等、事業名にアルファベットが含まれているものについては、全角ではなく、半角にした方が良いです。</p>	<p>アルファベット部分については、半角にいたしました。</p>
15	2回目	鎌田副委員長	<p>「第2章これまでの取組について」の「3 これまでの振返り」の最後の段落について、新たな課題として記載されている文章が第4章のための事業の羅列となっており、何が言いたいかわからないため、「新たな課題にも取り組みます」といった簡単な記載にしても良いと思います。</p>	<p>課題の例示を厳選し、文章も簡潔になるように記載の内容を見直しました。</p>
16	2回目	鎌田副委員長	<p>「第3章市の産業振興施策に関する調査とその結果について」の調査の中で、「図表3-3 現在、直面している経営上の問題点」のように「現在」という言葉だけを表示していると、それが、いつの時点を示すものなのかわからなくなってしまう。いつの時点かを正しく伝えるためには、文章中に〇〇年〇月時点と表現する方法もありますが、全てに入れるのはスマートではないので、例えば、調査の概要を本編中に表示して示したらわかりやすくなると思います。</p>	<p>調査概要を入れることで、わかりやすくなるように修正しました。</p>

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認 時期	委員名	意見内容	回答
17	2回目	鎌田副委員長	「第3章市の産業振興施策に関する調査とその結果について」の「図表3-2 D1値」の説明について、「約6割が仕入単価上昇との見通しを持っています。資源価格の高騰・高止まりによる収益力の低下が、経営安定化への大きな懸念材料となっています。」の部分は図表から読み取れるものではないため、読み取れるものを適切に表現すべきだと思います。また、引用している箇所についても、同様に修正すべきだと思います。	図表から読み取れる表現に記載の内容を修正するとともに、引用している部分も修正しました。
18	2回目	鎌田副委員長	「第3章市の産業振興施策に関する調査とその結果について」の「図表3-6 販売額全体に占める現金比率」の説明について、「現金志向が根強く残っています」との記載がありますが、こちらの設問では、販売額における現金比率を調査したわけであって、現金を使いたいや使いたくないといった志向を確認したわけではないと思います。正しく表現するためには、「販売額として、半分を超える52%の事業者で現金の比率が高くなっています」といった記載の方が良いと思います。	記載内容を修正いたしました。
19	2回目	鎌田副委員長	「第3章市の産業振興施策に関する調査とその結果について」の「図表3-12 普段よく利用する決済方法」の説明として「QRコード」の記載がありますが、こちらは「(株)デンソーウェーブの登録商標」となり、使用する場合は、冊子中にその旨の文言をいれなければいけないと思いますが、いかがですか。	ご指摘のとおりです。脚注として同ページの中に登録商標に関する記述を追記しました。
20	2回目	鎌田副委員長	第3章の「調布市の産業振興施策に関するアンケート調査」では、自由記述のアンケート項目もあったと思います。具体的な生の声として、貴重なデータだと思いますので、回答を掲載してもいいのではないのでしょうか。	ビジョンにおいては、すべての回答を掲載することができず、また、一部の意見だけを掲載すると掲載内容の偏りが起きてしまうことを懸念し、掲載しておりません。 ご指摘いただきましたとおり、自由記述のアンケート結果は非常に参考になるものと認識しております。具体的な施策を検討していく際などには、活用したいと考えております。
21	2回目	鎌田副委員長	「第4章調布市が抱える課題について」の題名について調布市が抱える課題というのが重々しいので、記載する表現としてはその後のリード文で入っている「今後の産業振興における課題」あたりがふさわしいと思います。	題名を「今後の産業振興における課題」に変更しました。

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認 時期	委員名	意見内容	回答
22	2回目	鎌田副委員長	「第4章の2 観光振興について」の記載の中で、回遊に関する内容のみを記載すると、それだけを取り上げたのはなぜかという疑問が生じてしまうため、例えば、第3章の来街者調査の結果である「図表3-23 より多くの人に調布市を訪れてもらうために必要なもの」の回答数が多いものを取り上げつつ、課題出しするイメージで記載した方が良いと思います。	ご指摘いただいた趣旨に沿って記載内容を修正しました。
23	2回目	鎌田副委員長	「第4章の2 観光振興について」の記載の中で、PRという言葉を使っているが、これはどういった意味で使用していますか。もし、ただ単に魅力を伝える意味で使用しているのであれば、PRは違和感があります。例えば、アピール等の違う言葉を使用した方が良いと思いますので、ご検討ください。	本ビジョンの上位に位置する基本構想でもPRという文言を使用していることや、市から一方的に魅力を伝えるのではなく、相手との双方向性がある取組といった意味合いもあるため、PRの文言は生かしながら、記載内容を修正しました。
24	2回目	鎌田副委員長	「第5章 地域経済活性化に向けた取組の基本的な考え方」の「2 基本方針・取組方針」について、骨子構成案として示した図表などを参考に、図を挿入して、視覚的に把握できるような読み手にわかりやすい工夫が必要だと思えます。	基本方針・取組方針の記載内容に図を挿入して、わかりやすくしました。 →取組方針を取組の方向性に変更しているため、そちらに合わせて図も変更しました。
25	2回目	鎌田副委員長	「第5章 地域経済活性化に向けた取組の基本的な考え方」の「2 基本方針・取組方針」について、基本方針1に対して取組方針1・2・3は問題ありませんが、その後の基本方針2に続く取組方針が4・5・6という番号になっているため、基本方針2の取組方針1・2・3がないのが不自然に見えてしまいます。例えば、基本方針1に紐づく取組方針の番号は「1-1」、基本方針2に紐づく取組方針の番号「2-1」と表記することで、違和感がなくなるとは思いますか、いかがでしょうか。	そのように記載内容を修正いたしました。
26	事前説明	八幡委員長	和暦・西暦の併記の方がわかりやすいと思います。	和暦・西暦の併記に修正しました。
27	事前説明	八幡委員長	出典の記載方法を統一した方が良いと思います。	出典の記載方法を統一いたしました。
28	事前説明	八幡委員長	創業については、「スタートアップ」という言葉が最近使われることが多いです。今回のビジョンの中にも、このキーワードを入れてみてはいかがでしょうか。	取組の方向性3-2の本文を変更して取り入れました。

調布市産業振興ビジョン委員意見一覧表（第4回検討委員会前）

No.	確認 時期	委員名	意見内容	回答
29	事前説明	八幡委員長	第4章の1 商工業振興についての記載の中でデジタル化（≒DX）の記載があるが、その後の文章でデジタル化（IT化）と示していることや、第3章のデジタル化に関する調査結果の記載から（IT化）とした方がいいと思いますが、いかがでしょうか。	デジタル化（IT化）に変更いたしました。